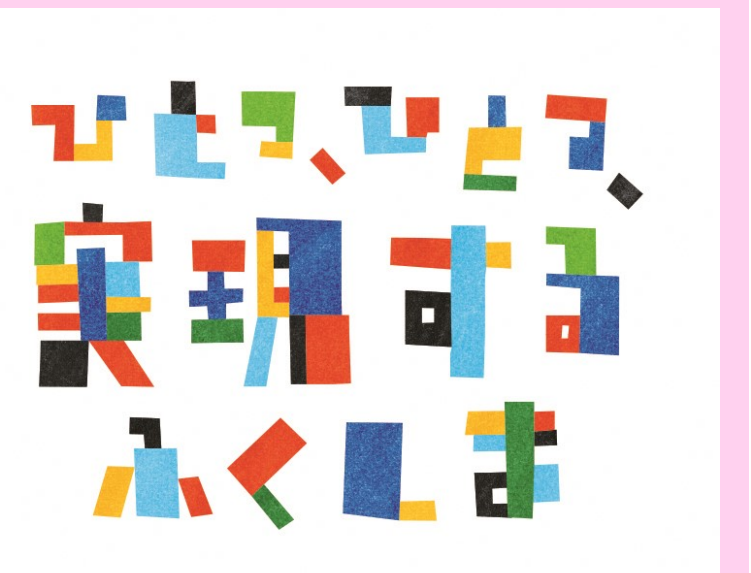


# 福島県内の地域別（消防本部別）の熱中症救急搬送者数の分析及び熱中症対策出前講座について

福島県環境創造センター（福島県気候変動適応センター） ○蛭田 真史、柳田 彩美琴



## 1.はじめに

気候変動による気温の上昇に伴い、熱中症による救急搬送者数が日本全国で増加の傾向にあります。福島県内においても、図1に示すとおり同様な傾向があり、熱中症対策は喫緊の課題です。

熱中症の発生状況は地域によって異なり、適切な適応策を検討するためには、それぞれの地域における救急搬送者数の現状を把握し、それを分析する必要があります。このため、福島県内の地域別（消防本部別）の熱中症救急搬送者数の分析を行いました。

また、熱中症予防の指標である「暑さ指数(以下「WBGT」という。)」についての理解を深め、学校生活等における熱中症予防対策を促すために、小・中学生を対象に「熱中症対策出前講座」を行っています。

ここでは、福島県内の地域別（消防本部別）熱中症救急搬送者数の分析(2015年～2024年)と熱中症対策出前講座について紹介します。

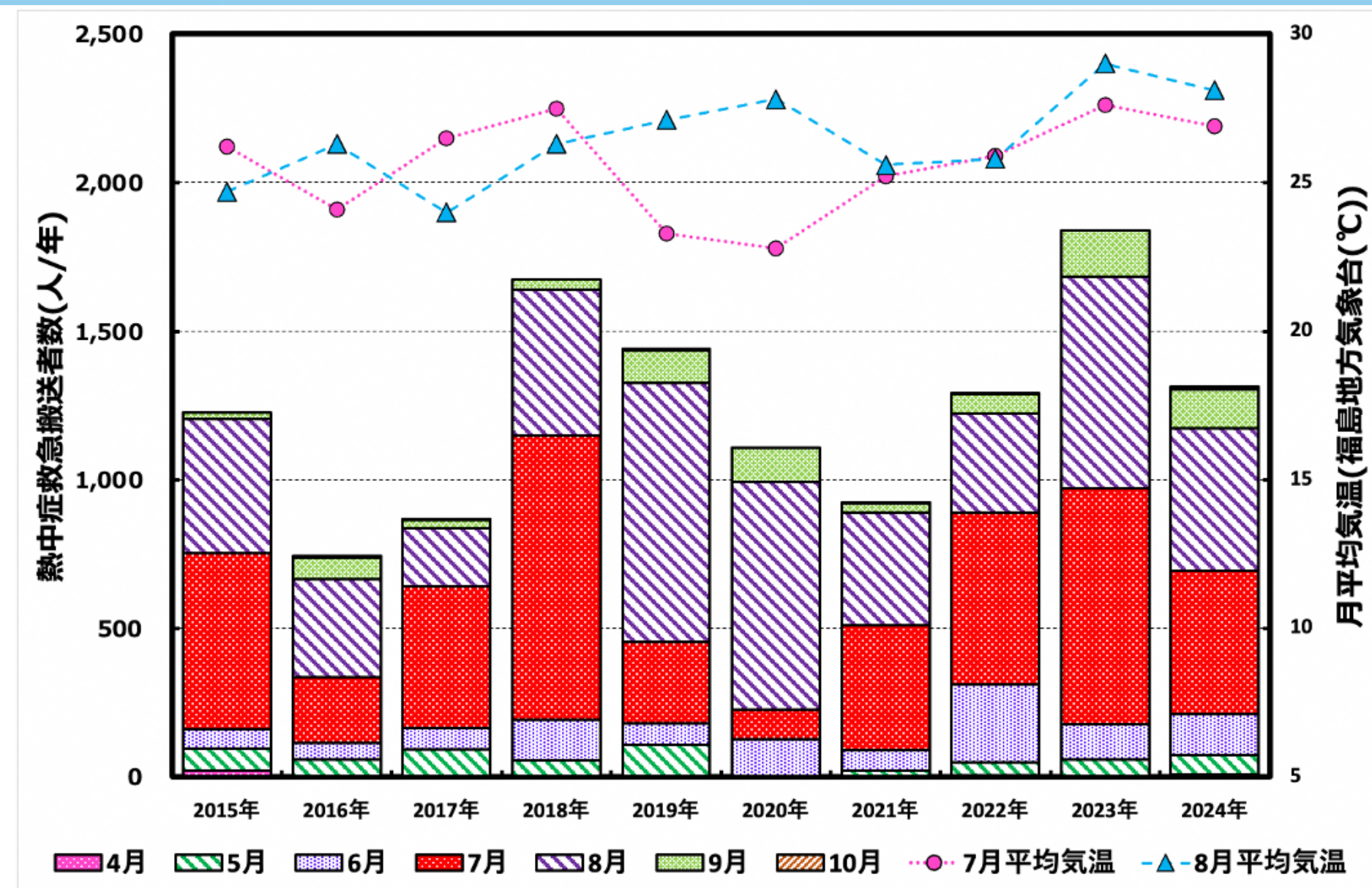


図1 福島県内の熱中症救急搬送者数と7月・8月の平均気温の経年変化

## 2.福島県内の地域別(消防本部別)の熱中症救急搬送者数の分析

### (1) 福島県内の消防本部

福島県の気候区分は北日本太平洋側と北日本日本海側に区分され、さらに天気予報等では北日本太平洋側気候区分を「浜通り」と「中通り」、北日本日本海側気候区分を「会津」に区分されます。

福島県内の消防本部の位置は図2に示すとおり12消防本部が配置されています。「浜通り」には、いわき市、相馬広域、双葉広域の3消防本部、「中通り」には、福島市、伊達組合、安達広域、郡山広域、須賀川広域、白河広域の6消防本部、「会津」には会津若松広域、喜多方広域、南会津広域の3消防本部が配置されています。

### (2) 年齢別

全県と消防本部別の年齢別(0～6歳(未就学児)、7～12歳(小学生)、13～17歳(中・高校生)、18～64歳(高齢者を除く成人)、65～74歳(前期高齢者)、75歳以上(後期高齢者))の熱中症救急搬送者数構成比を図3に示します。双葉広域を除く消防本部では65歳以上の高齢者の構成比が50%以上で、特に伊達広域、須賀川広域及び南会津広域では60%を超え、全県より高くなっています。伊達広域及び南会津広域では人口の高齢率が全県平均より高くなっています。双葉広域では東京電力(株)福島第一原子力発電所事故(以下「原発事故」という。)の影響により居住している高齢者が他の地域に比べて少ないことや、いわき市や相馬広域等の周辺の消防本部の管内等から通勤または滞在している高齢者を除く成人の労働者が多いことに起因していると推察されます。

### (3) 発生場所別

全県と消防本部別の発生場所別(住居(庭も含む)、仕事場①(工場等)、仕事場②(農林水産業)、教育機関、公衆出入り場所(屋内)、公衆出入り場所(屋外)、道路、その他)の熱中症救急搬送者数構成比を図4に示します。双葉広域を除く消防本部では住居での発生割合が最も多くなっています。双葉広域では仕事場①での発生割合が最も多くなっています。原発事故の影響により居住者が少ないこと、営農活動があまり行われていないことや多くの人が労働のために移動していることに起因していると推察されます。また、伊達組合と須賀川広域では全県に比べて仕事場②で発生割合が多くなっています。この地域は、他の地域に比べてWBGTが高いことや、夏季に収穫する農作物(きゅうり、なす、もも等)が多く、屋外での作業が多いことに起因していると推察されます。

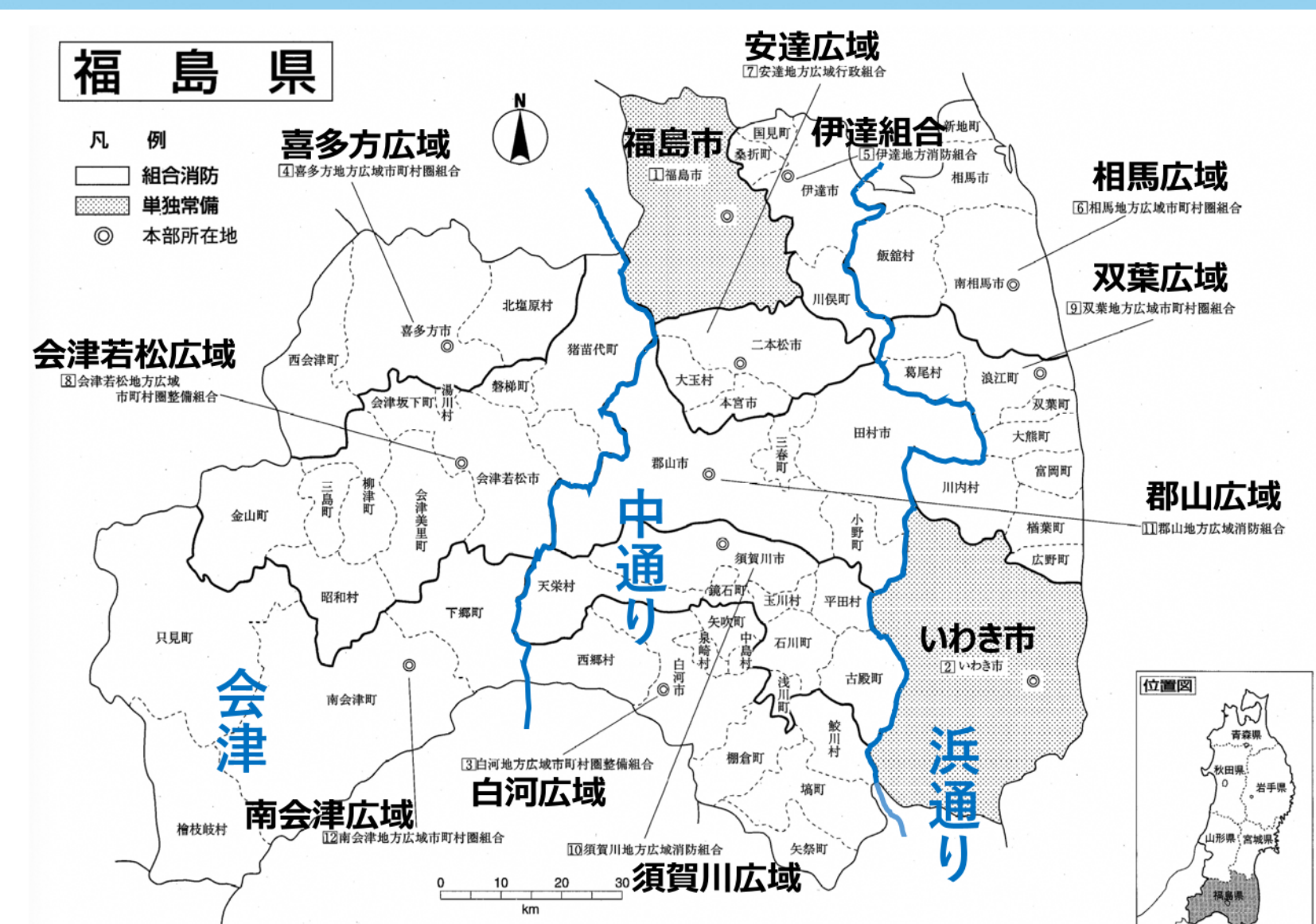


図2 福島県内の消防本部の位置

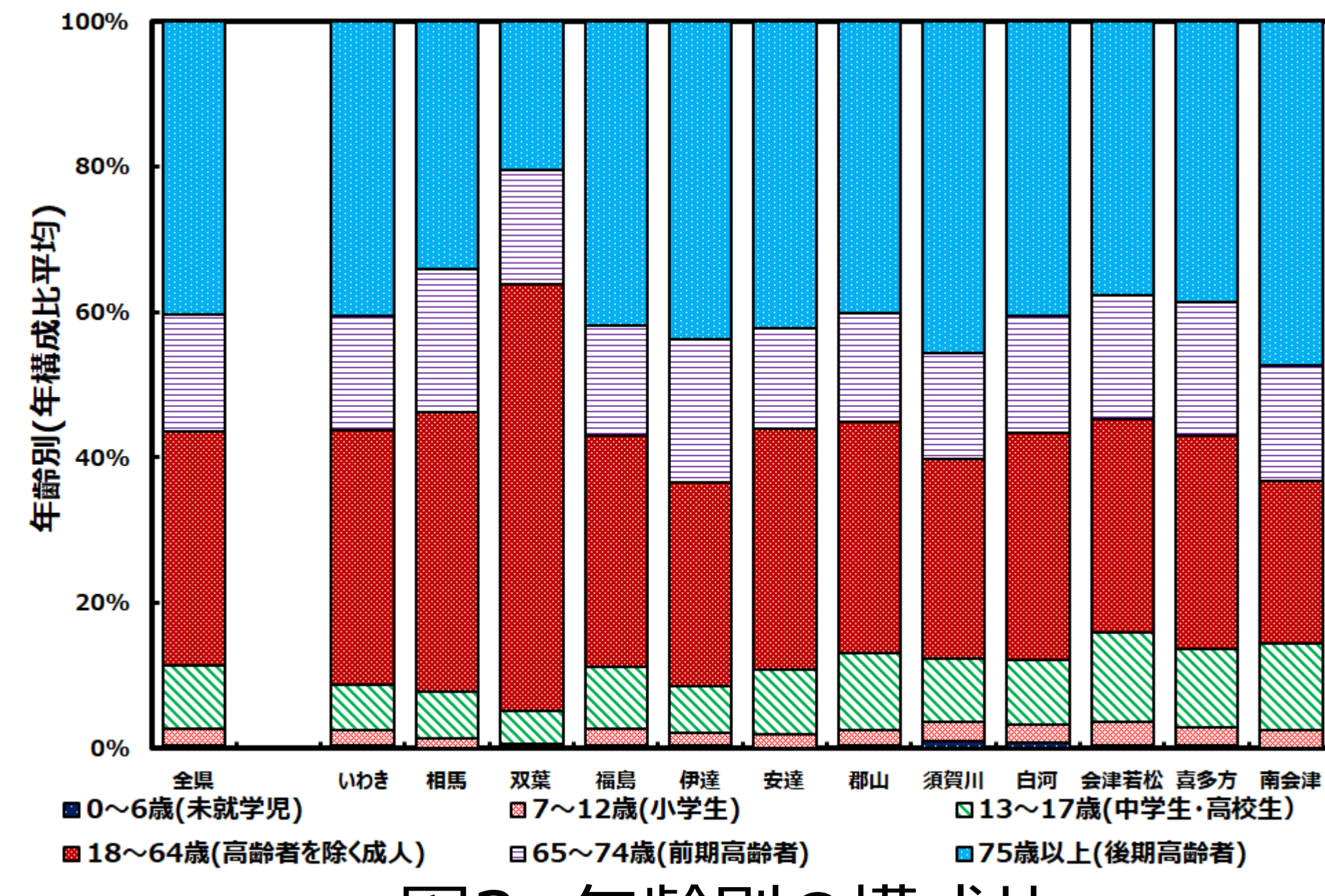


図3 年齢別の構成比

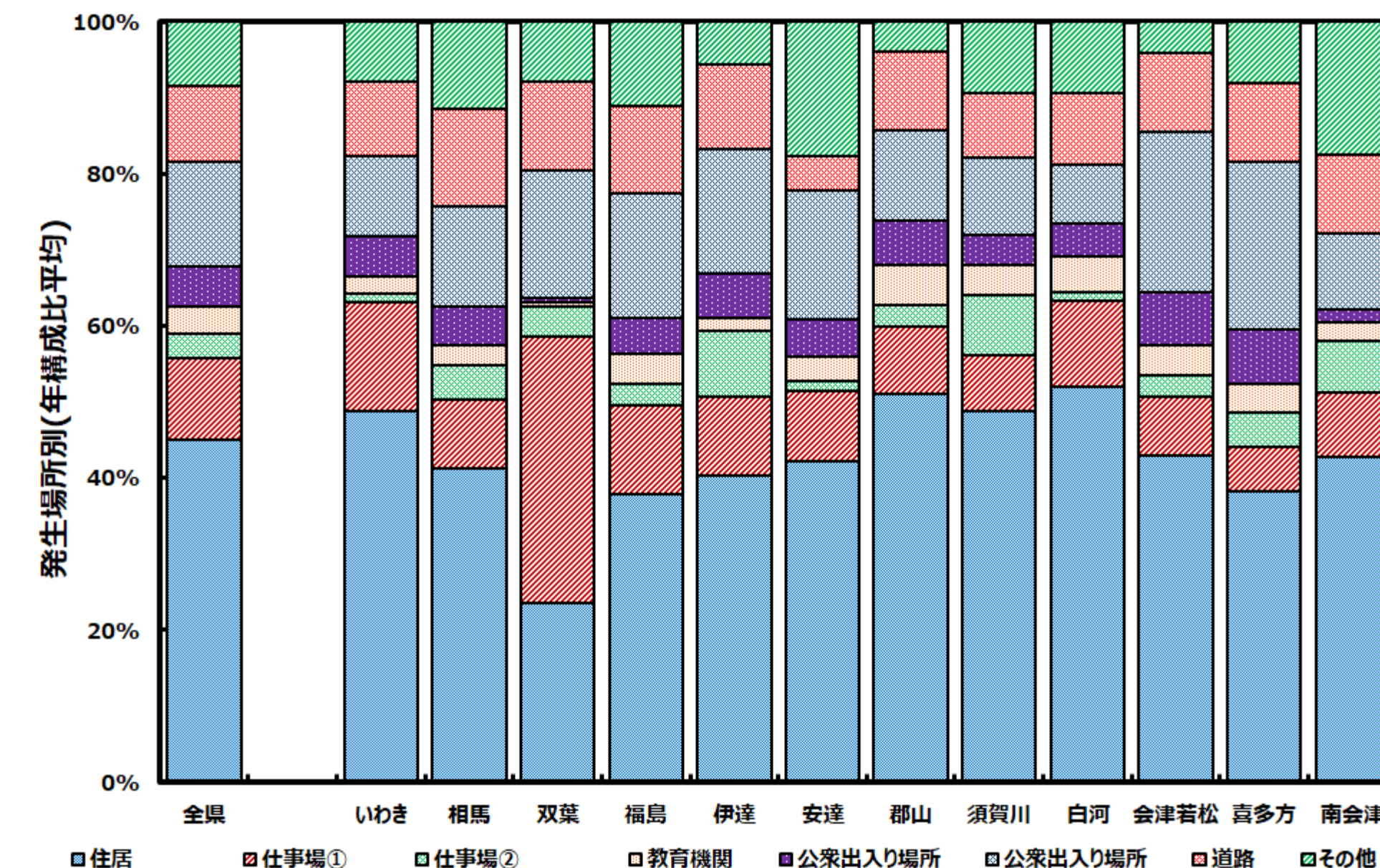


図4 発生場所別の構成比

## 3.熱中症対策出前講座

### (1) 講座の内容

#### ア 講義

福島県気候変動適応センター職員が県内の気候変動の現状やWBGTの意味などを解説し、小型のWBGT計の取扱方法を説明しました。

#### イ 学校内のWBGTの測定

児童が班ごとに分かれ、校内の各地点（日なたの校庭、木かげ、日かげの校舎裏など）でWBGTを測定して、熱中症予防のために休憩できる場所を探しました。また、日なたの校庭では、日傘や帽子で日射を遮ってWBGTを測定し、熱中症予防のための日傘や帽子の効果を体感する実験を行いました。

測定結果を学校の衛星写真(Google Earth利用)に測定値ごとに色分けしたシールを貼り、校内マップを作成しました。

### (2) 実施校

小学5年生～中学2年生を対象として、令和6年度、令和7年度ともに小学校2校、中学校1校で実施しました。



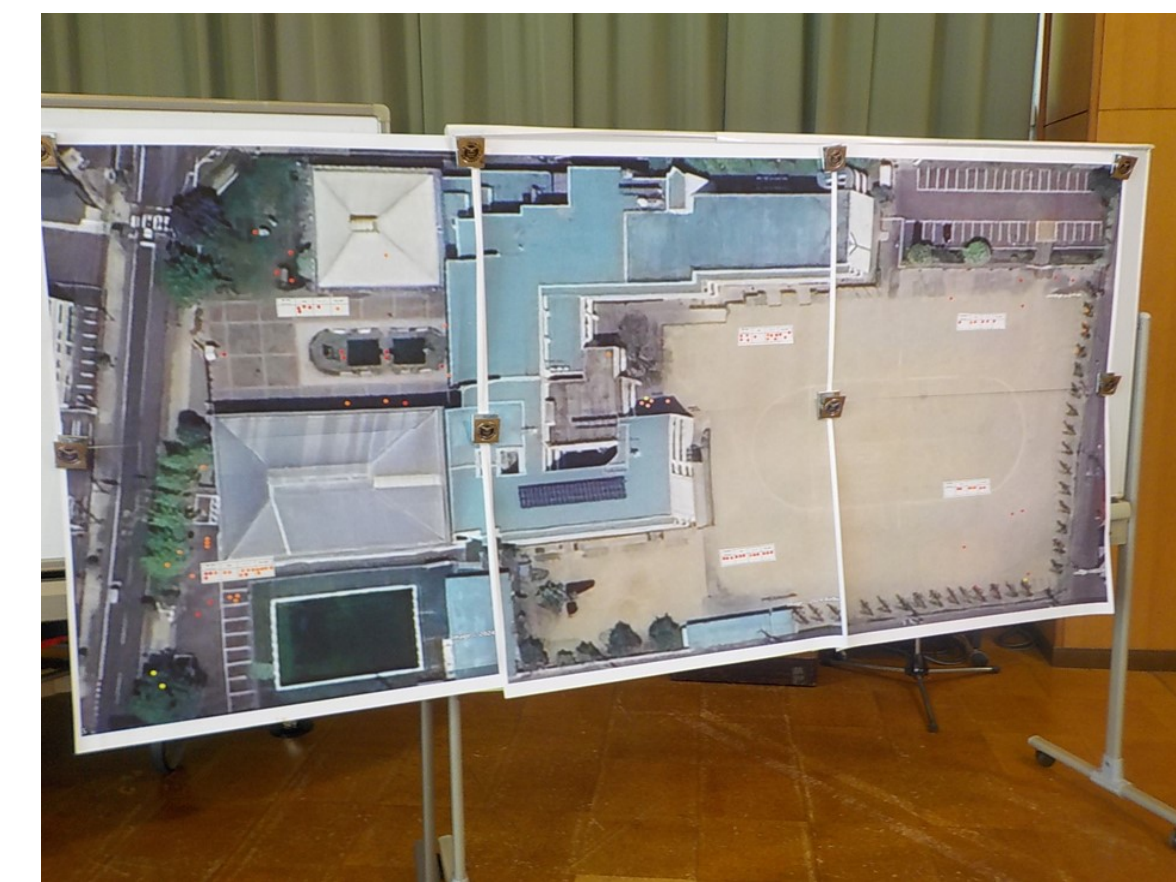
日なたの日傘の下でのWBGTの測定



木かげでのWBGTの測定



校内マップの作成



作成した校内マップ